

「大丈夫！」自己の過信が事故招く



「STOP」自転車交通事故



榛東村交通安全会

会長 石川 一郎

明けましておめでとうございます。

皆様方には、平素より交通安全会の活動に對しまして、格別の御理解と御協力を承り厚く御礼申し上げます。

また、交通安全会理事の方々及び交通関係者の皆様方には、各種啓発活動や村内行事に御尽力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年の活動を振り返ってみますと、自転車用ヘルメット購入費の助成事業を多くの村民の方に御利用いただき、ヘルメットを着用している方が増えたように感じます。今年も多くの方に御利用していただければと思いますので、よろしく願います。

群馬県では、高校生の自転車交通事故件数が8年連続全国ワーストワンという不名誉な記録が続いています。この助成事業を通じてこの記録が止まりますように、各種啓発活動も併せて実施してまいります。

また、御家庭内でも、交通安全や交通ルールに加えて交通マナー等も話し合っていたいただければと思います。



榛東村交通安全会
女性部部长
高橋 静江

交通安全の意識向上

新年あけましておめでとうございませう。

交通安全会をはじめ関係者の皆様には、日頃より交通安全会活動に御協力をいただき心より感謝申し上げます。

交通安全会女性部では、こどもたちが交通事故の当事者にならないよう交通安全教室や着ぐるみ劇を通じて、横断歩道では一歩下がって必ず止まる事や自転車等の正しい乗り方を身に付けていただいております。

毎日報道されているように、集団登校時の悲惨な事故や高齢者及び自転車での事故など様々な交通事故が発生しており、その被害者はもとより加害者も不幸な事となつてゐるのが実情です。

このような事故の当事者をなくすべく一人一人が交通マナーを守り、「思いやり・譲り合い」の意識を常に持ち交通事故ゼロを目指して今後も安全で明るい未来を築けるよう、交通安全の呼びかけを続けてまいります。



榛東村交通対策協議会
会長 (榛東村長)
真塩 卓氏

「交通事故ゼロ」の村を目指して

新年明けましておめでとうございませう。

村民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

村では昨年の3月に村道北谷地・大敷線の改良舗装工事が完成し、全面開通となりました。

この道路は、県道高崎渋川線バイパスへのアクセス道路として計画されたものであり、村と前橋市等の都市部へのアクセスが向上いたしました。また、歩行者も安全に利用できるように車道の拡幅とともに2.5m幅の歩道も併せて設置し、利便性だけでなく安全性も確保されております。

利便性の向上により交通量も増加しているため、通行時には交通安全に配慮していただきますようお願いいたします。

群馬県内では、夕暮れ時から早朝にかけて時間帯において高齢の歩行者が犠牲となる交通事故が連続して発生し、多くの尊い命が失われるという事態を重く受け、「交通死亡事故多発に伴う警察本部長声明」が令和4年12月に発令されました。

本村における令和4年1月から11月末時点までの交通人身事故発生件数は39件、負傷者数は47人であり、前年同期と比較すると約5割増という状況にあります。これは令和4年3月まで適用されていた「まん延防止等重点措置」が解除され、行動制限が緩和された結果、自動車等による外出が増加したことが大きな要因のひとつであると考えられます。

本村の交通事故死亡者数は、平成26年から9年連続「ゼロ」でした。死亡者数がゼロという結果は、榛東村交通安全会を始めとする、交通安全活動に携わる多くの方々が、コロナ下においても臨機応変に対応し、交通安全啓発を行っていただいた賜です。

令和3年4月から群馬県交通安全条例が改正され、自転車利用時にはヘルメットの着用が努力義務となりました。これに伴い、榛東村交通安全会では、自転車用ヘルメットの購入費助成を昨年の2月から実施し、多くの村民の皆様にご活用していただいた結果、村内でもヘルメットを着用している方を多く見受けられるようになりました。この助成制度を引き続き村民の皆様にご活用していただければと思います。

輝かしい新年を迎え、村民の皆様一人一人が交通安全の意識を持ち、御家族でも交通ルールや交通マナーについて今一度話し合っていたいただければと思います。今年も引き続き交通関係者や渋川警察署等と連携し、安心・安全に暮らせる「交通事故

ゼロ」の村を目指して啓発活動に取り組む所存です。これからも皆様方の御理解、御協力をお願い申し上げます。



渋川交通安全協会
事務局長
田中 愛子氏

思いやり運転で事故防止

新年明けましておめでとうございませう。

皆様には、輝かしい新春を迎えることと心からお喜び申し上げます。

平素から渋川交通安全協会の運営、活動等に深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の渋川警察署管内における交通情勢につきましては、前年に比べ、交通事故死者数は減少したものの、交通事故発生件数や負傷者数は、増えている状況にあり、高齢者が関係する事故の割合も増加傾向にあるなどして、依然として厳しい状況が続いております。

薄暮時間帯(夕暮れ時)には、交通事故が発生しやすくなります。早めのライト点灯・ハイビームの活用と、他の車や自転車・歩行者に対しても、相手の立場に立った「優しさ」と「思いやり」を持った運転を心掛けましょう。

また、歩行者の皆さんは、夕暮れ以降は、明るい服装と反射材を着用しましょう。周囲に自分の存在を知らせることが事故防止につながります。

当協会といたしましては、悲惨な交通事故を一件でも減らすために、今後もこどもと高齢者の交通事故防止を最重点に

○ こどもと高齢者の交通安全意識の高揚

○ 事故防止に有効な反射材の活用

○ 追突事故・出会い頭事故の防止

等の活動を積極的に推進してまいります。

交通事故のない安全な榛東村を目指して、本年も渋川警察署をはじめ交通安全会、関係機関・団体と緊密な連携の下に地域の皆様と交通安全活動に取り組んでまいりますので、引き続き当協会に対する御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。



渋川警察署
交通課長
小林 保隆氏

思いやり運転の実践を

新年明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひします。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、平素より、警察行政に對して多大なる御理解と御協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

さて、令和4年中の渋川警察署管内の交通事故発生状況につきましては、人身事故発生件数、負傷者数は微増、死亡者数は減少となりました。

榛東村内では、死亡事故、重傷事故の発生も抑えることができました。

とは言え、信号無視、歩行者妨害、一時不停止といった、交通違反を原因とする交差点での事故も、まだまだ散見される所です。

交通ルールをしっかりと遵守し、確実な安全確認に努め、相手の立場に立った思いやり運転の実践を心掛けてください。

榛東村の交通安全会や交通指導員の皆様方は、コロナ下という大変厳しい状況にありながら、交通安全に対する意識が非常に高く、地域に密着した活動をなされています。皆様方の日々の献身的な活動が住民の交通安全意識の高揚に大きく貢献いただいている事は紛れもない事実です。

今後も皆様と手を取り合って、交通事故のない安全な地域社会の実現に向けて努力してまいります。引き続きの御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



榛東南部こども園 園長 飯塚 匡氏

かけがえのない命を守るために

新年明けましておめでとうございます。日頃から交通安全会をはじめ、交通安全活動に御尽力くださっている方々に心から感謝申し上げます。

さて、本園では、春、満開の桜を見に異年齢の園児たちが手をつなぎ、宿稲荷神社まで散歩に行きます。

ぽかぽかとした陽をいっぱいに浴びながらお兄さんお姉さんに手をつながれた小さなお友だちもうれしそうです。

交差点では先生たちが安全を確認し、こどもたちは小さな手を精一杯挙げて右左右を確認して急いで渡ります。道路を歩いているときも車が来ると、立ち止まって車の様子をつかりと確認し、過ぎ去るまで見送ります。

このような活動を一年間、日々繰り返しながらこどもたちは自然と交通ルールを学んでいきます。

これらのことをさらに整理し強化されているのが、榛東駐在所長さんや交通安全会の方々が工夫して行っている人形劇や交通安全教室です。子どもたちの興味関心を引き出しつつ、大事なポイントを繰り返し丁寧に指

導されている姿勢には、いつも感心させられます。自分の身は自分で守れるようになる危険予測・回避能力の育成が求められる今、子どもたちの発達段階に即しながら、かけがえのない命を守る取組を今後引き続き進めていきたいと思っています。



榛東村交通指導員 隊長 志岐 直樹氏

交通事故を防止するために

明けましておめでとうございます。日頃、交通安全推進に御理解、御協力をいただき、誠にありがとうございます。私たちが交通指導員も朝の街頭指導や各種行事での交通安全などを通じて、村内の交通安全に貢献できるように活動しております。

自動車は日常生活において欠かせない非常に便利なものです。しかし、使い方を誤れば、非常に危険なものになってしまうため、日頃から安全運転を心掛ける必要があります。交通事故は気の緩みや不注意が原因で起こりうるものです。一人一人が交通ルールを守り、周囲の安全確認を常に意識して持つことが、交通事故防止に繋がります。ま

た、譲り合い、心にゆとりを持つ、思いやりのある交通マナーも併せて心掛けることも非常に大切です。各種関係機関と協力しながら、私たち交通指導員はこれからも、村民の皆様の安全を守るとともに、村内の交通事故ゼロに助力できるように務めてまいります。



榛東駐在所 所長 澁谷 敏之氏

交通事故ゼロの村の実現に向けて

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひします。

皆様には、平素から警察行政に對して、多大なる御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、交通事故のない榛東村の実現に向けて「交通事故ゼロ」という目標のもと、石川交通安全会会長さん、高橋女性部長さんを中心に、交通安全会、交通指導員等様々な方々の協力によって、幼稚園、こども園、保育園児に對しては交通安全教室、着ぐるみ交通安全劇、小学校生に對しては交通安全教室、自転車講習さらにチラシや安全グッズを配るショッピング作戦等交

通安全に對する意識を向上させる活動を行ってまいりました。さて、榛東村における昨年（令和4年12月15日現在）の交通事故発生状況を見ますと、皆様の御協力により交通死亡事故は平成26年以降発生していません。しかし、コロナによる規制の緩和の影響か、交通量の増加により交通物件事故は140件で前年と比べ件数は11件、負傷者数は13人の増加となりました。

交通事故の発生原因は安全不確実が最も多いため、周囲の交通状況に注意を払うことで事故を防ぐことができたと思います。また年齢別では、65歳以上の高齢者の運転による交通事故が多く、時間帯別では朝夕の通勤時間帯と昼前の時間帯に集中している傾向にあります。

交通事故を防止するため、歩行者、自転車利用者及び自動車、オートバイ運転者それぞれが交通ルールを遵守し、特に自動車を運転される場合には、車間距離を十分に保ち、スピードを落とす等の安全確認をお願いします。本年も地域の皆様と共に「交通事故ゼロの村」の実現に向けて地道に活動を行っていきたいと思いますので、引き続き御協力をよろしくお願い致します。



一斉街頭指導

冬の県民交通安全運動期間中、渋川警察署、
榛東駐在所、渋川交通安全協会の皆さんと合
同で榛東村内において一斉街頭指導を行いま
した。



SHINTOMURA anzenkai

安全会活動 レポート

photo
REPORT



ショッピング作戦

フレッシュ榛東新井店で交通啓発品を配付し、交通事故防止を呼びかけました。



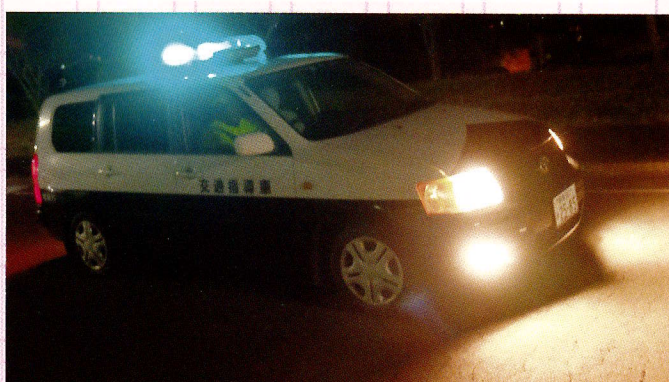
朝の街頭指導

交通安全運動期間中、街頭指導を実施し、
歩行者の安全を確保しました。



夜間パトロール

毎週火曜日及び交通安全運動期間中、
村内のパトロールを実施しました。



交通安全教室

幼稚園、保育園、こども園で、園児を対象とした交通安全教室を実施しました。

今年度は着ぐるみ劇も披露し、しんとうちゃんとともに園児へ交通ルール等を教えました。



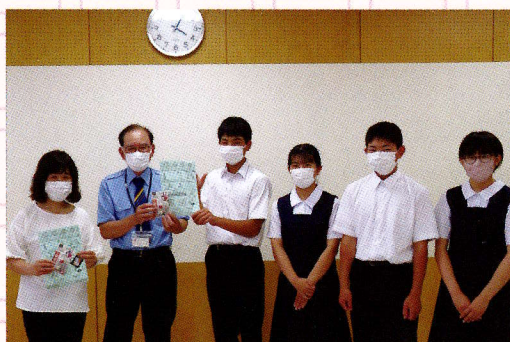
小学校では

自転車での安全確認の仕方や横断歩道歩行訓練など実践的な練習を実施しました。



中学校では

自転車マナーアップを実施し、中学生に自転車のサドルやカバンに取り付けるLEDライトを手渡しました。



高齢者の交通安全について

このコーナーでは、高齢者の交通安全について、高齢者の方の意見や体験談を紹介します。

村内在住者

高速自動車道走行

東名高速、名神高速以外に全国各地に高速自動車道の各路線があり、年末年始を利用して家族旅行などに出掛けるとありますが、高速自動車道は日々の生活道としての一般道走行とは違う速度で走行するため、少しの油断が大きな事故に繋がるのです。

道路事情も季節で異なり、夏場はアスファルトが太陽の熱で非常に高温になります。その道路を100km近い速度で走行すると、タイヤにも負担が掛かります。このような道路は駐車禁止のためSAやPAの駐車場で車（タイヤ）も人も休むことが大切なのです。それぞれ用事を済ませて人も車も安心して走行し、夜間走行時は昼間と違い掲示板等見えにくくなると思うので、十分に注意が必要でしょう。プレートランプの球切れなどは追突事故を起こす可能性があります。そのため、整備不良がないように車検を行い、安全走行を心掛けましょう。スペアタイヤや工具類の確認も出先では間に合わないため、事前に行う必要があります。

また、冬場は冬期用のタイヤを着用する事は勿論ですが、走行す

る上で、自動車が上り坂や下り坂ではいつも以上にカーブによる負担が掛かり、雪道はハンドルを切った方向と反対に滑るため、注意が必要になります。少しの工夫で事故を未然に防ぐ事が出来るでしょう。楽しかった家族旅行、無事に帰宅することはお土産とはなりませんが、どんな立派なお土産よりも全員の安全が大切なのではないでしょうか。後日旅行の話を家族でできるのは何より楽しいことでしょう。安全運転に努め、いつもやさしく思いやりのある運転操作を心掛けましょう。



三保茂子さん
(4区)

初心を忘れない運動

私が車の免許を取得したのは、50年前の事です。ふるさと公園、耳飾り館もまだありませんでした。また、世界的にもオイルショックの影響で日本も大変な一年でした。石油が輸入出来なければ運転免許を取得しても無駄になってしまふと思いましたが、とりあえず免許だけはと思い取得しました。毎日のように運転しています。大変な話です。でも一度ハンドルを握り、運転を誤れば車は人間を殺す凶器に変わる事もあります。

最近テレビ等で高齢者の交通事

故が注目されています。他人事ではなく、自分も気を付けなければと思います。自分の事で家族に負担を掛けないように初心を忘れず、いつも余裕を持って運転を心掛ける今日この頃です。



高橋 久さん
(17区)

交通安全に関する事

加齢による体力の低下に気付いたのは、歩行速度の減退、腰の痛み、物忘れが何度も続いた時で、常時健康に自信のあった私は多少の落胆を覚えた。身体は体力増進を図るため毎日のウォーキングと週1回のグラウンドゴルフを始め。高齢者の関係する交通事故が多発しそれが後押しとなって今も熱心に継続している。

自動車の運転は安全運転に欠く事の出来ない5か条がある。

- 1 危機管理意識の保持
- 2 焦り運転なし
- 3 だらう運転なし
- 4 車間距離を十分に取る
- 5 平常心での運転を心掛ける

これを常に唱歌する
幸い現役時代車を足代わりに使っていたので、操作は現在でも抵抗なくできるので、後は自分の体力と法規制の遵守です。安全運転を続ける中で近い将来の生活設計を考える私です。

優良自動車運転者表彰を行いました

優良自動車運転者表彰は、自動車運転に関して、常に交通法令を遵守し、運転技能に優れ、かつ社会的責任を自覚した思いやりのある運転者を表彰することで、模範運転を励行していただくとともに、他の運転者の交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止に寄与することを目的として実施しています。令和4年において、次の方々が優良自動車運転者表彰を受賞されました。長年にわたる安全運転の励行、受賞に対し心から感謝とお祝いを申し上げますとともに、今後とも安全運転をお願いします。

旭日金冠章 (40年以上 無事故・無違反)	今井 孝芳(14区) 小池 実(17区)
金冠金賞 (30年以上 無事故・無違反)	神田 照雄(20区)
金冠銀賞 (20年以上 無事故・無違反)	小野 竹夫(5区)
金賞 (15年以上 無事故・無違反)	
銀賞 (10年以上 無事故・無違反)	
銅賞 (5年以上無事故・無違反)	

毎月25日は
高齢者交通安全日です

学校



では

南北小学校それぞれの代表者から、交通安全について感じたことや意見などを紹介するとともに、北小学校の小池校長からの寄稿を紹介します。

みなさまに感謝



榛東村立北小学校
校長
小池 賢一 氏

毎朝、旗振りをしていると、いろいろな出会いがあります。元気な小学生たち、班長さんが下級生を気遣いながら一列で歩いてきます。「校長先生、おはようございます。今日の給食はカレーだよ。」横断歩道前で車が止まってくれました。賑やかな一団が横断歩道を渡って車に会釈します。運転手の方も会釈を返してくれます。最近目は目の前を通る運転手の方が何人も私に頭を下げてくださいます。村民の方だけでなく村外の方もあると思いますが、心の温まる瞬間です。児童と一緒に歩いてくださっている保護者の方や、児童の歩いている様子を見届けてくださっている地域の方。「いつもありがとうございます。今日は寒いですね。北小の池が凍りましたよ。」白い息を吐きながら短い挨拶を交わします。

毎日、交通事故のニュースを目にします。その時いつも、交通事故をなくすことはできないのかと疑問に思っていました。そこで、交通事故について調べてみました。すると、なにかしらの不注意で事故が起こることが分かりました。自転車に乗る時も歩く時も十分な注意が必要です。

小学校の交通安全教室では、自転車に乗る時はヘルメットをかぶる、止まれの標識があつたら必ず止まる、スピードを出しすぎない、歩いている時も車のドアが急に開くかもしれない、道路を渡るときには手を挙げて左右の確認をするなど、たくさんルールや気をつけることがあることを教えてもらいました。

また、毎日歩いている通学路には、交通指導員の方や地域の方の「おはよう。」「行つてらっしゃい。」の声は、とても温かかったです。

これからは交通事故をなくすために、ルールを守り、注意して通行したいです。

交通安全のために



榛東村立北小学校
布施輝栄さん

安全な登下校に



榛東村立南小学校
青山 皓さん

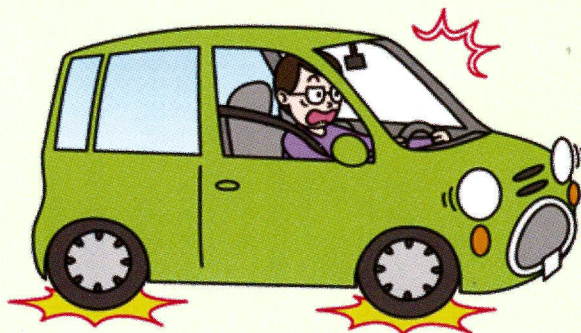
6年生になって、ぼくが初めて登校班の班長になったとき、班のみんなを安全に学校まで連れて行くという緊張感を持っていました。

ですが慣れてくると、緊張感がうすれてしまっていると感じることがありました。

そんなときニュースで登校班の列に車がつつこんで、小学生がけがをしたり亡くなってしまうたりしたことを知りとても怖いと思いました。改めて班長として、もっと気を配っていかないとけないかと実感しました。

ぼく達の通学路には狭い歩道があるのに車道からなるべく離れて歩くようにしたり、ガードレールがない歩道も多いのでさらに気をつけて登校したりしようと思いました。

これからも、班長として緊張感を持って、けがのない安全な登下校を心がけたいです。



交通安全会理事の 皆さんからの投稿です



第1区自治会理事
入村 香代

交通安全活動に参加して

交通安全会の理事として活動に参加して4年が経とうとしています。活動に参加する事で交通安全に対する意識や見える景色が変わったように思います。車を運転している時にヘルメットを被って自転車通学をしている高校生に目が行き、ヘルメットがカゴに入れたままになっっているのを見ると残念に思うようになりました。

コロナの影響で交通安全会の活動も中止や縮小を余儀なくされてきましたが、昨年は女性部による村内の園児を対象にした「着ぐるみ劇」を再開することができました。道路を渡る時は必ず止まる。右を見て左を見てもう一度右を見る。当たり前の事ですが安全確認は歩行者だけでなく自転車や自動車を運転する時は大人もこどもも変わらなければならないのです。今後も交通安全会の活動を通じて色々な角度から交通事故防止のお役に立てるよう努めていきたいと思っています。



第5区自治会理事
三保 成美

車の運転中の「イラッ！」

新年明けましておめでとうございます。

交通安全に関する事で、車を運転しながら思うことをしたためたいと思います。

私は、ほぼ毎日、一般道・高速道路を利用し車を運転しています。(通勤も含めて)

運転している「ヒヤッ」「ドキッ」とすることはありませんか？

例えば、前方を走行中の車が突然、曲がる直前で方向指示器を出したり、または全く出さずに曲がったり、薄暗くなった道路で一時停止後、進もうと思ったら無灯火の車が接近していたり、急な割り込み、その直後の急ブレーキなど、「ヒヤッ」とした後、何事も無く済んでよかったと安堵するとともに、私などは、よくできた人間ではないため、その度「イラッ！」とします。

これはほんの一例で、挙げだしたらキリがないほどたくさんあります。

そこで、あるとき気づきました。こうした運転をする方たちは、「こうしたら周りの車を苛つかせますよ」って私に教えてくれる先生方なのでは？と。(俗に言う反面教師？)

自分がされて嫌なことは人にしない。「人の振り見て、我が振り直せ！」

方の教えを教訓に自分の運転に照らし合わせ、人に「イラッ！」とさせないよう、安全な運転を心がけたいと思います。皆さんはいかがでしょうか？

えっ！そんな当たり前のことは必要ない。「大きなお世話」でしたか？失礼しました。

それでは、皆様も「ご安全に！」



第5区自治会理事
狩野 栄子

「交通事故0」へ

新年明けましておめでとうございます。

交通安全理事としての活動を始めて6年になります。

新型コロナウイルス感染防止のため思いうように啓発活動ができない時期もありましたが、様々な工夫をし、形を変えて取り組んでいます。ドライバーの方へ安全運転をお願いする街頭指導は、下新井交差点付近での「のぼり旗」による啓発としました。村内の幼稚園・こども園・保育園、小中学校での「交通安全教室」、夜間パトロール、カーブミラーの清掃・点検等々「交通事故ゼロ」を目指し活動しています。

女性部としての活動では、着ぐるみ劇や指人形劇などで、こどもたちと一緒に楽しく交通ルールを学んでいます。道路の渡り方や信号機の見方等の話に、真剣に耳を傾けてくれる様子を見てみると「自分の命は自分で守る」という意識が高まることを感じます。

私自身も自動車のハンドルを握る際には、心と時間に余裕を

持つように心掛けなくてはと思います。歩行者や他者への思いやりを意識する事により、少しでも悲惨な事故を減らす事につながる一助になれば願います。

村民の皆さんのご協力をいただき、共に笑顔で日々が送れるよう、交通安全の啓発活動に努めて参ります。



第6区自治会理事
樋口 朝治

命を守る活動の一翼を担って

安全会の理事になってこの春で4年が終わろうとしています。

最初の2年間は理事としての活動はほぼ皆無でした。また、新型コロナウイルスの時期とも重なり、予定していた行事もほとんど中止となりました。昨年にいり漸く対策を講じながらの各行事が縮小、再開されました。

特に私自身が再開するにあたり各行事に参加し印象に残ったのは、まず交通安全運動期間中の朝の街頭指導です。児童らに「おはよう」と声を掛けると元気がよく返事が返ってくる。何かその日一日の活力を貰ったような。

二つ目は安全会女性部主体の着ぐるみ劇です。入学前の園児を対象にした交通安全教室を行い、昨年は練習から参加し、本番では女性部のパワートと演技に圧倒され、園児と一体となった会場の雰囲気を感じました。

安全会の存在自体は知っていましたが、理事となり交通安全行事を通じて、榛東村の将来あるこどもたちの命を守る活動の一翼を担っている安全会を誇りに思いました。こどもたちに元

気とパワーを貰った4年間でし



第16区自治会理事
村上 誠

命を守るヘルメット

新年あけましておめでとうございます。

健康や環境によいという理由で自転車が目立っており、高校生の自転車通学以外でも見かけることが増えてきました。

私も趣味で自転車に乗っており、風を切って走るのは気持ちが良いのですが、危険な目にも何度か遭いました。その中からヘルメットに関する経験をふたつ紹介します。

ひとつめはヘルメットに助けられたケース。ある日、サイクリング中にわか雨に降られ、濡れたマンホールでスリップして横転、道路脇の石垣に頭を強打しましたが無傷でした。もしノーヘルだったら大けがを負っていたかもしれません。

ふたつめは通勤途中、狭い路地から出てきた女子高生の自転車と出合い頭に衝突。お互いのヘルメットで頭がぶつかり、大きなこぶができました。女子高生は何事もなかったかのように走り去ってしまったのですが、どうだったのやら。

何事もなければヘルメットは不要かもしれませんが、いつ何が起きるかわかりません。自転に乗るときは必ずヘルメットをかぶりましょう。

高校生の通学用ヘルメット購入助成事業を実施中です。ぜひご利用ください！